

土砂災害にご注意ください！

土砂災害には、がけ崩れ、地すべり、土石流の3つの種類があり、多くの場合、何らかの前兆現象が現われます。次のような前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大切です。これらの土砂災害の発生は、予測することは殆どできません。

(政府広報オンラインより転載)

土砂災害の種類	がけ崩れ	地すべり	土石流
特徴	斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。	斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいため甚大な被害が発生。	山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象です。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。
			
主な前兆現象 危険度	がけにひび割れができる	地面がひび割れ・陥没	山鳴りがする
	小石がパラパラと落ちてくる	がけや斜面から水が噴き出す	急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
	がけから水が湧き出る	井戸や沢の水が濁る	腐った土の匂いがする
	湧き水が止まる・濁る	地鳴り・山鳴りがする	降雨が続くのに川の水位が下がる
	地鳴りがする	樹木が傾く	立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
		亀裂や段差が発生	